

第 205 回 日本材料学会 岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 24 年 5 月 18 日（金）13：00～17：00

場 所：国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所及び京都第二外環状道路建設現場

出席者（敬称略）：大津宏康(委員長)、石川浩次、笹尾春夫、中井卓巳、長谷川信介（幹事）
（計 5 名）

1. 見学会（京都第二外環状道路建設現場）

国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所の松岡課長から京都第二外環状道路の概要説明を伺った後、松岡課長と吉原課長のご案内により、建設現場の見学を行った。

2. 委員会報告・学会よりの連絡事項

(0) 前回議事録の確認（資料 1 頁）

長谷川より説明があり、承認された。

(1) 平成 23 年度決算報告（資料 3 頁）

長谷川より平成 23 年度の決算についての報告が行われた。

(2) 入退会者の報告（資料 5 頁）

長谷川より、入会者 2 名、退会者 2 名の報告が行われた。

(3) 次期委員長・幹事について（資料 6 頁）

大津委員長より、次期委員長として石田先生の推薦があり、承認された。また、幹事として、長谷川と奈良先生が指名された。

(4) 会誌「材料」連載講座執筆希望調査（資料 8 頁）

ここ数年連載講座をもったことがないことから、今回も希望しないということとなった。

(5) 支部・部門の賞の広報について（資料 12 頁）

そもそも岩石力学部門委員会での部門賞はなく、部門賞を設けるには規約を改正する必要がある。このため、部門賞を設けることについては、今後の審議事項とした。

(6) 第 61 期学術講演会の案内（資料 14 頁）

平成 24 年 5 月 25 日～27 日に岡山大学で開催される学術講演会では、岩石力学部門委員会のセッション（OS11）の発表件数は 10 編という報告を行った。

(7)編集委員会報告（資料 16 頁）

西山先生（長谷川代読）より、編集委員会合理化案について説明が行われた。編集委員会合理化案は、新しく編集委員の選出を要求するものではなく、会誌の運営や活性化について議論する機会を設け、役割分担の明確化を目的とするという説明が行われた。

(8)岩の力学連合会の報告（資料 19 頁）

石田先生（長谷川代読）より、岩の力学連合会の報告が行われた。

岩の力学連合会の理事として、材料学会からは 2011 年 6 月～2013 年 5 月の任期中で石田先生と、笹尾委員を選出しているが、2 名同時に交代すると継続性が損なわれることから、以下の対応案について審議し、了承された。

対応方法

「石田先生 2012 年 5 月末で辞任し、石田先生を 6 月より新たな 2 年間の任期中の理事として推薦する。」

3. その他

第 206 回部門委員会は、平成 24 年 7 月頃開催を予定する。

以上